

V ひきこもり対策の現状

ひきこもりとは、「様々な要因の結果として社会的参加（義務教育を含む就学、非常勤職を含む就労、家庭外での交遊など）を回避し、原則的には6ヵ月以上にわたって概ね家庭にとどまり続けている状態（他者と交わらない形での外出をしてもよい）」を指す*。内閣府の調査によると現在ひきこもり状態にある方は全国で約115万人と推計されている（平成27年度内閣府調査（満15歳から満39歳までが対象）「若者の生活に関する調査」より54.1万人、平成30年度内閣府調査（満40歳から満64歳までが対象）「生活状況に関する調査」より61.3万人）。県内でも、平成30年度ひきこもりに関する実態調査を実施し、ひきこもりの状態にある方は少なくとも726人いることが分かった。

本県では、ひきこもり対策として精神保健福祉センターや保健所において、家族等から相談を受け、必要に応じて家庭訪問を実施するほか、家族教室、居場所の提供、講演会等を実施している。

また、平成23年6月20日に県精神保健福祉センター内に設置した「香川県ひきこもり地域支援センター」においては、県内保健所や関係機関と連携して、ひきこもり状態にある方や家族からの相談に応じるとともに、ひきこもり相談支援に携わる支援者等を対象とした研修会等を行っている。

*ひきこもりの評価・支援に関するガイドラインより

表35 令和4年度ひきこもり相談等実績

	小豆	東讃	中讃	西讃	センター	高松	ひきこもり相談 （委託）	ひきこもり相談窓口 （委託）	ひきこもり当事者 傾聴サロン （委託）	計
訪問（延件数）	24	39	16	25	4	101				209
相談（延件数）	59	15	83	21	687	193	26			1,084
相談内訳	電話（延）	44	14	48	11	148	125	19		409
	来所（延）	15	1	20	10	525	68	7		646
	メール（延）	0	0	15	0	14	0			29
講演会・研修会（回数）	1	2	2	1	2	0				8
家族教室・交流会（回数）	0	0	2	0	11	3				16
当事者の集団活動（回数）	0	0	0	0	22	0			47	69

*高松市保健センターは、平成28年度から「高松市ひきこもり相談窓口」、平成29年度から「高松市ひきこもり当事者傾聴サロン」を『KHJ香川県オリーブの会』に委託している。

表 36 令和4年度ひきこもり関係協議会、講演会・研修会等実施状況

	事業名	内 容	実績等	
			回数	延人数
ひきこもり地域支援センター (精神保健福祉センター)	ひきこもり対策連絡協議会	第1回 (R4年6月8日) (1) 香川県におけるひきこもり支援体制について (2) 就職氷河期世代活躍支援かがわプラットフォームについて 第2回 (R4年11月30日) (1) ひきこもり支援者のための実践研修 (2) 情報交換 ※第2回は、ひきこもり支援者のための実践研修と同時開催	2回	105人
	ひきこもり支援者のための実践研修	講演「CRAFTを応用したひきこもりの家族支援」 講師：境 泉洋 先生(宮崎大学教授) ※オンライン(Webex)により、第2回香川県ひきこもり対策連絡協議会と同時開催	1回	57人
	ひきこもり対策研修会・思春期精神保健研修会	講演「不登校対応における待ち方と促し方 —子どもの心情理解と保護者とのかかわり」 講師：東 宏行 先生(埼玉県立大学教授) ※ You Tube によるオンデマンド配信	1回	289回 (アクセス数)
小豆総合事務所	ひきこもり対策支援者研修会	①講義：「ひきこもりと向き合う～理解と支援、当事者の立場から～」 講師：一般社団法人 hito.toco 代表理事 宮武 将大 氏 ②グループワーク、情報交換会	1回	21人
東讃保健福祉事務所	ひきこもり支援研修会	第1回 講義：「長期・高年齢ひきこもり支援方法について」 講師：日本福祉大学 名誉教授 竹中 哲夫 氏 第2回 事例検討 助言者：県精神保健福祉センター ひきこもり市町等支援員 宮武 将大 氏	2回	36人
中讃保健福祉事務所	ひきこもり支援研修会	講義：「ひきこもりの家族の関わり方のヒント」 講師：香川県ふじみ園 相談支援センター 曾利 真弓 氏	1回	12人
	ひきこもり支援者研修会・事例検討会	講義：「発達障害とひきこもり」 講師：香川県ふじみ園 相談支援センター 曾利 真弓 氏 事例検討会 助言者：香川県発達障害者支援センター 新井 隆俊 氏 香川県ふじみ園 相談支援センター 曾利 真弓 氏	1回	24人
	市町ひきこもり支援関係者情報交換会	モデル市町から取組状況等発表、市町同士での意見交換・質疑応答、情報提供	1回	13人
西讃保健福祉事務所	ひきこもり支援研修会	講演：「独りじゃないよ — 家族として、親の相談者としての経験から —」 講師：NPO 法人 ペアレントメンターかがわ 理事 秋山 輝美 氏	1回	11人
高松市健康づくり推進課	高松市ひきこもりサポーター活動従事者研修会	第1回 (R4年7月3日) 講義「医師から見る不登校・ひきこもりの理解と対応」 講師 香川大学医学部附属病院精神神経科 助教 木戸 瑞江 氏	1回	10人

表 37 令和4年度ひきこもり当事者の集団活動や交流会等の状況

	事業名	内 容	実績等	
			回数	延人数 (実人数)
ひきこもり地域支援センター (精神保健福祉センター)	ひきこもり当事者の集団活動 (ポコアポコ)	ひきこもり当事者の社会参加へのステップを目的とした当事者の集団活動 毎月2回 (第1・3水曜日)	22回	82人 (7人)
	ひきこもり親のグループワーク	グループミーティング 毎月1回 (第2金曜日)	11回	35人 (15人)
福祉事務所 中讃保健	ひきこもり家族のつどい (アネモネの会)	ひきこもりサポーターから体験談・活動内容の紹介、自由な意見交換や、各相談機関の窓口や居場所、研修会等情報交換	2回	27人 (19人)

1. ひきこもりサポーター養成研修・フォローアップ研修、派遣・活用状況

平成26年度に、地域に潜在するひきこもりを早期に発見し、適切な支援機関に早期に繋ぐことで、ひきこもりからの脱却の短期化を目指すために、当事者、家族、民生委員、学生等、幅広い層から「ひきこもりサポーター」を養成するための研修を実施した。平成27年度からは、ひきこもりサポーターとして活動希望者を登録し、ひきこもりサポーター派遣事業を実施する市町に名簿提供を行うとともに、登録したサポーターに対し、フォローアップ研修を実施している。

【サポーター研修・勉強会等】

令和4年度は、ひきこもり支援やサポーターの活動の幅を広げるために、サポーター養成研修等を一般社団法人 hito.toco に委託し、行政、関係機関（家族会等）と連携しながら実施した。

	内 容	回数	延人数
ひきこもりサポーター養成研修/フォローアップ研修	■フォローアップ研修 ① R4年7月3日 講師：香川大学医学部附属病院 精神科神経科 医師 木戸 瑞江 氏 ② R4年11月26日 講師：一般社団法人ひきこもり UX 会議 共同代表理事 恩田 夏絵 氏 ③ R5年1月29日 講師：高松大学 発達科学部 教授 山口 明日香 氏 ④ R5年2月19日 講師：長崎県立大学 地域創造学部公共政策学科 講師 伊藤 康貴 氏 ⑤ R5年3月13日 講師：東京未来大学こども心理学部 専任講師 野中 俊介 氏	5回	97人

【ひきこもりサポーター登録者数】 サポーターの登録・名簿管理はひきこもり地域支援センターが実施。

H26 年度	32 名
H27 年度	32 名
H28 年度	25 名
H29 年度	31 名
H30 年度	27 名（活動 23・協力 4）
H31 (R1 年度)	24 名（活動 22・協力 2） 4/1 時点 養成研修後 新規登録者 44 名（活動 28・協力 16） 合計 68 名（活動 50・協力 18） 11/1 時点
R2 年度	64 名（活動 51・協力 13） 4/1 時点
R3 年度	49 名（活動 38・協力 11） 4/1 時点
R4 年度	66 名 4/1 時点
R5 年度	65 名 4/1 時点

【ひきこもりサポーター派遣・活用状況、実績】

サポーター派遣については、市町が主体にする事業であるが、当初は実施する自治体が 2 市町にとどまったため、平成 27 年 7 月から「ひきこもりサポーター活用事業要綱」を定め、県保健所やひきこもり地域支援センターでサポーターの活用を実施している。

	派遣回数	活動延人数（実人数）
H27 年度	15 回	18 名（8）
H28 年度	105 回	251 名（25）
H29 年度	133 回	299 名（20）
H30 年度	134 回	269 名（20）
R1 年度	115 回	242 名（19）
R2 年度	158 回	312 名（29）
R3 年度	136 回	289 名（26）
R4 年度	151 回	317 名（23）

令和 4 年度実施機関：

高松市、まんのう町、三豊市、西讃保健福祉事務所、中讃保健福祉事務所、ひきこもり地域支援センター、一般社団法人 hito.toco

令和 4 年度活用内容：

- 当事者への直接支援
 - ・訪問支援…まんのう町、高松市、中讃保健福祉事務所
 - ・来所相談、電話相談、傾聴サロン…高松市
 - ・同席面接・・・ひきこもり地域支援センター
- 家族への支援
 - ・訪問支援…高松市、中讃保健福祉事務所
 - ・同席面接…ひきこもり地域支援センター、一般社団法人 hito.toco
- 事業の協力
 - ・当事者の集団活動…ひきこもり地域支援センター
 - ・家族教室…三豊市、中讃保健福祉事務所、ひきこもり地域支援センター、一般社団法人 hito.toco、
 - ・支援者研修会…西讃保健福祉事務所

2. 令和4年度の取組み

【ひきこもり専門相談員派遣事業】

県がひきこもり専門相談員（ひきこもり支援の豊富な相談実績及び知識を有する者）を2名委嘱し、市町、保健所、社会福祉協議会その他ひきこもり相談を受ける者へのスーパーバイズを行い、地域相談者のスキル向上と相談機能の充実を図る。

	派遣回数
R4年度	2回

【保護者対象のペアレントプログラム】

NPO 法人ペアレントメンターかがわに委託し、保護者から本人への効果的なアプローチによるひきこもりからの脱却及び家族支援の充実を図る。

		参加延人数（実）	参加メンター延人数（実）
R4年度	夏学期	73人（15）	30人（6）
	秋学期	83人（15）	31人（6）

【交流・社会参加・体験のできる居場所（中高年にも配慮した居場所づくり）】

さぬきポレポレ農園（東讃地域）、香川県ふじみ園（中讃地域）、支援センターウィズ（西讃地域）の3か所に委託し居場所づくりを実施。

【ひきこもり市町等支援員の配置】

より住民に身近な市町でのひきこもり支援の充実・強化を図ること目的に、ひきこもり支援関係機関や市町の職員に対し、支援に必要な知識及び技術を指導するとともに、地域における関係機関のネットワーク構築の促進等を行うひきこもり市町等支援員を香川県ひきこもり地域支援センターに配置した。

3. 民間団体（一般社団法人ひきこもり UX 会議）の事業協力

①経緯

今年度、一般社団法人ひきこもり UX 会議が厚生労働省「令和3年度（補正予算）独立行政法人福祉医療機構社会福祉振興助成事業」として、全国的な取組を目指すため、複数の自治体に参加を依頼することになっている。本県に依頼があったことから、ひきこもり対策の全国的な取組状況や今後の方向性などを把握していく観点からも、本事業の参画を受け入れる。

②事業内容

- ・本事業は、ひきこもり UX 会議が事業主体者として中間接続的な役割を担い、行政や民間団体等の連携体制をつくりながら、孤立状態に置かれているひきこもり当事者やその家族と支援者をつなげる「場」を設けることを目的に実施する。
- ・支援者の育成や支援体制の構築を行うことによる中長期的な支援体制の地固めとなることを期待し「ひきこもり支援関係者ネットワーク会議」を立ち上げ官民連携して取り組む。

- ・ ひきこもり経験のある講師を招き、当事者の視点から、あらためて「ひきこもり」を捉えなおすことを目的とした講演会（当事者が語る「ひきこもり」）を開催予定。講演会終了後には当事者や家族も含めた「小さな交流会」を実施。

当事者が語る「ひきこもり」/小さな交流会

(in 三豊)

- ・ 日 時：令和4年10月11日（火）13：30～15：10
- ・ 会 場：三豊市文化会館マリンウェーブ マーガレットホール
- ・ 対象者：ひきこもり当事者、ご家族、支援者、関心のある方等

(in 高松)

- ・ 日 時：令和4年12月7日（水）13：30～15：10
- ・ 会 場：瓦町フラッグ8階 市民交流プラザ IKODE 瓦町
- ・ 対象者：ひきこもり当事者、ご家族、支援者、関心のある方等